

2022年度秋学期東海大学学位授与式 式辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

さて、本日の学位授与及び修了証の授与は、皆さんのこれまでのご努力の成果であり、大きな誇りとして胸に刻んでいただければと思います。

特にこの度の新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでの授業履修になるなど「ニューノーマル」な日常を経験することとなりました。卒業生の皆さんはこのような大変な年に卒業をしたこと、この大変な困難を皆様之力と粘り強さで克服されたことをお忘れになることのないよう、お願いしたいと思います。

SDGsに掲げられている地球的課題、そして新型コロナウイルス感染症を含む世界の医療問題に加え、今世界が激しく抗議をしているウクライナ情勢は、グローバルな視野による解決を必要とする重大な課題です。

我々がこれらの問題を解決するためには、国境を越え、世界中の人々と手を取り合いこれらの課題に立ち向かう必要があります。皆さんには、ぜひ東海大学で培った知識や技術を活用し、地球市民、世界連帯の一員としてこれからの人生を歩んで行って頂きたいと思います。

その昔、創立者松前重義先生は卒業式で卒業生一人ひとりに握手をされたそうです。そこで、私なりに本日卒業される皆様一人ひとりに少しでも直接向き合う手段として、英文証書には直筆で署名をさせていただきました。私の思いを感じていただければ幸いです。

創立者松前博士が掲げた「若き日に汝の希望を星につなげ」という言葉があります。この言葉のように日々努力してきた皆さんには、希望に満ちた世界が待っていることと思います。

私は今年度末を以って学長を退任いたします。皆さんと同じように卒業を迎えることとなります。最後のメッセージは日本語で行いたいと思います。

私はこれまでの人生を振り返ると挫折や失敗など多くの困難に直面して来ました。今回の湘南校舎で挙行される卒業式では、大学院の式典には黒川清先生が、学部の式典にはデンマークの文部大臣を長く務められたホーダーさんが祝辞を述べられます。黒川先生、ホーダーさんにお越しをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。

私は2008年に閉校した東海大学附属デンマーク校の問題でそのホーダーさんに助けを求めたことがありました。その時彼から「東海大学の創立者松前重義博士は太平洋戦争前に戦争に反対し、そのために前線に兵士として送られ、命を失う危険にあった。それでも主張を曲げなかった。お前の悩みの解決にあたっては命まで奪われることはあるまい。勇気をもってことに当たれ。」と諭されました。命まで無くすことはない腹を据えて行動した結果、デンマーク校は望星国民高等学校としての継続が叶いました。

皆さんもことにあたっては「命まで奪われることはない」と気概を持って臨んで下さい。アップルコンピュータの創始者であるスティーブ・ジョブズはスタンフォード大学の卒業式の祝辞で「Stay hungry Stay foolish.」と激を飛ばしました。「常にハングリーであれ、愚かであれ」というその真意は「常に、新しいことに挑戦し続けろ、失敗を恐れずに、進み続けろ」というメッセージであると思います。命まで奪われることはないのですから

皆さんの希望に満ちた世界への門出を心からお祝いします。おめでとうございます。

2023年3月

東海大学学長 山田 清志